

林業の労働災害発生状況（令和元年）

兵庫労働局労働基準部安全課

1 労働災害発生状況の概況(林業)

令和元年の全国の休業4日以上の死傷者数(以下「死傷者数」)は1,248人で前年より94人減少しました。

また、死亡者数は33人で前年より2人増加しました。

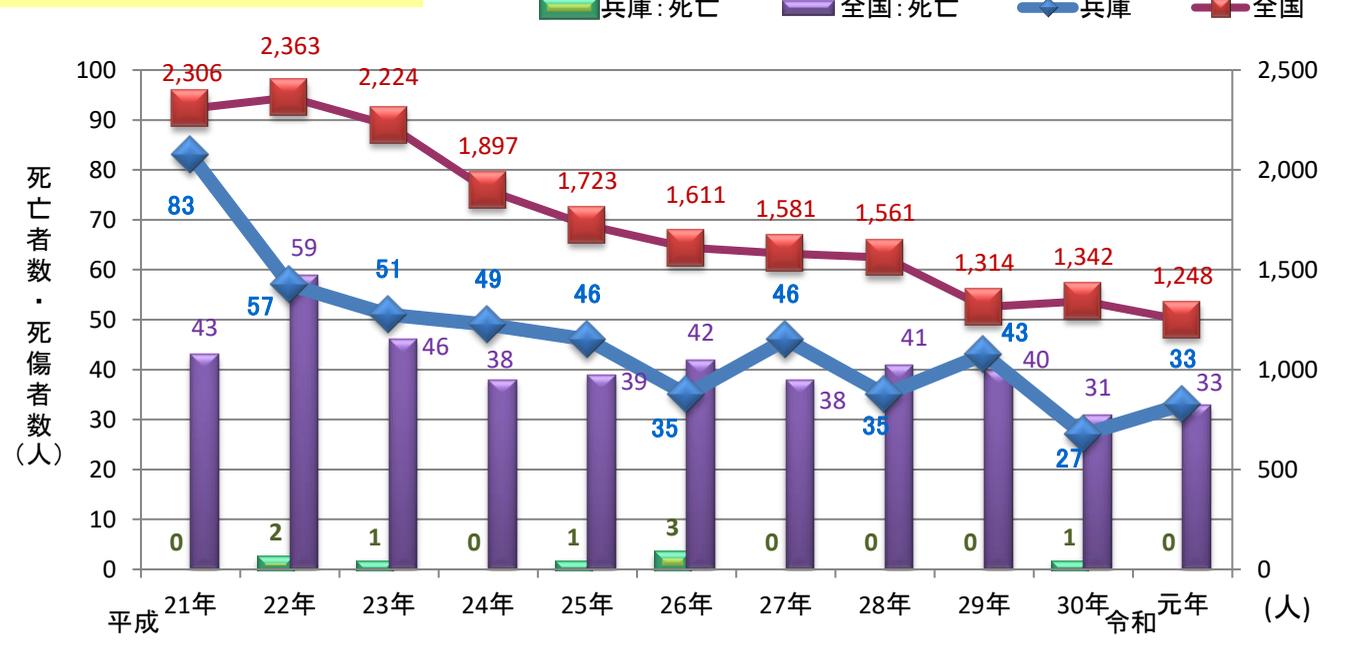
兵庫県下の死傷者数は33人で前年より6人(+22%)増加しました。

また、死亡者数は0人と減少しました。

「伐木」、「チェーンソー」作業に伴う災害で多く発生しています。

【参考】兵庫県下の労働災害発生状況(全産業)：死傷者数 4,926人(-116人)、死亡者数 31人(-5人)

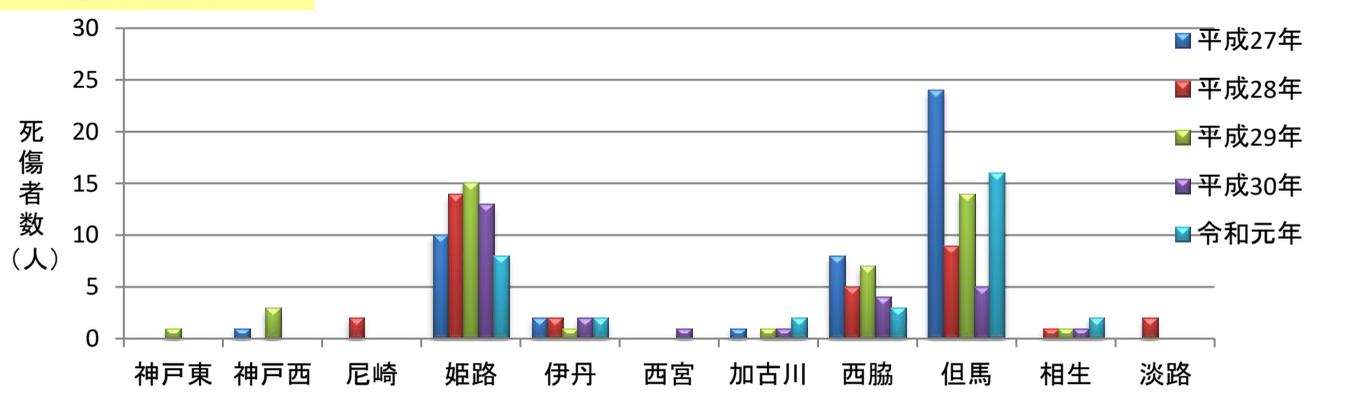
図1 死亡者数・死傷者数の推移



2 署別災害発生状況の推移（林業：兵庫局）

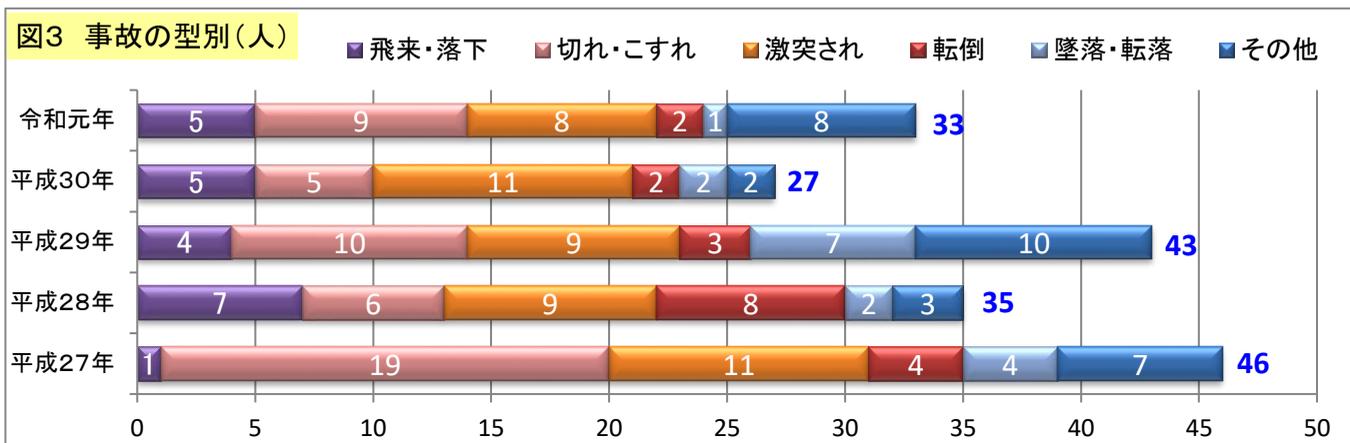
	神戸東	神戸西	尼崎	姫路	伊丹	西宮	加古川	西脇	但馬	相生	淡路	計
平成27年	0	1	0	10	2	0	1	8	24	0	0	46
平成28年	0	0	2	14	2	0	0	5	9	1	2	35
平成29年	1	3	0	15	1	0	1	7	14	1	0	43
平成30年	0	0	0	13	2	1	1	4	5	1	0	27
令和元年	0	0	0	8	2	0	2	3	16	2	0	33
計	1	4	2	60	9	1	5	27	68	5	2	184

図2 署別災害発生状況



3 事故の型別による災害発生状況の推移（林業：兵庫局）

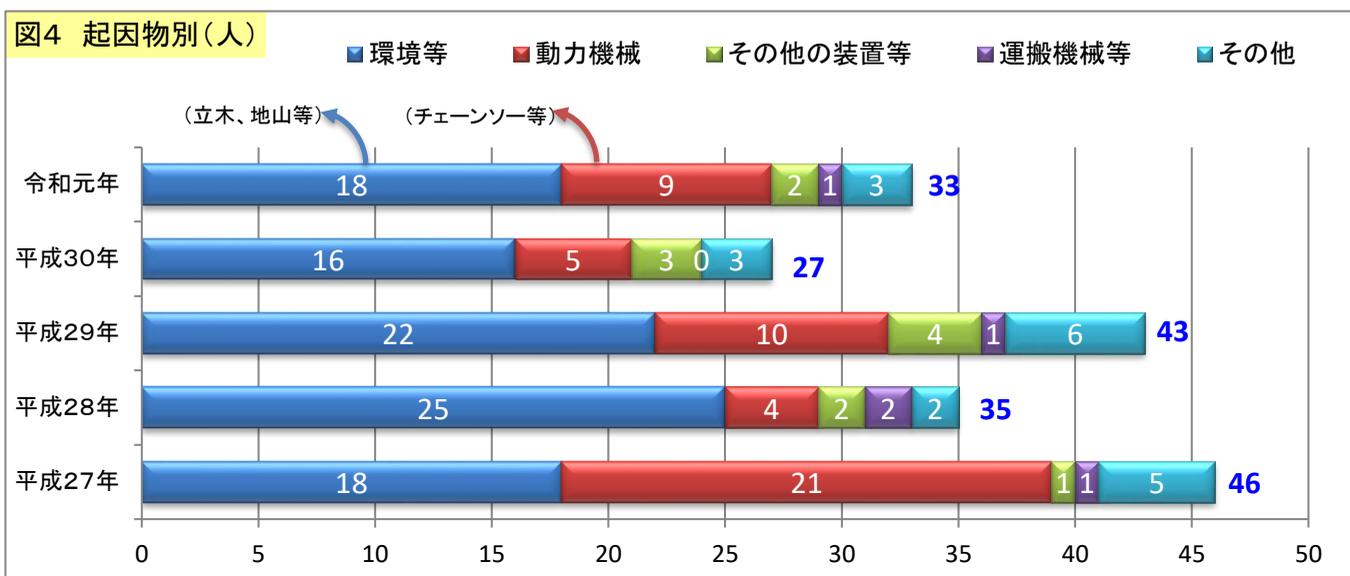
「事故の型」別で分類すると「切れ・こすれ」、「激突され」及び「飛来・落下」で災害が多く発生しています。



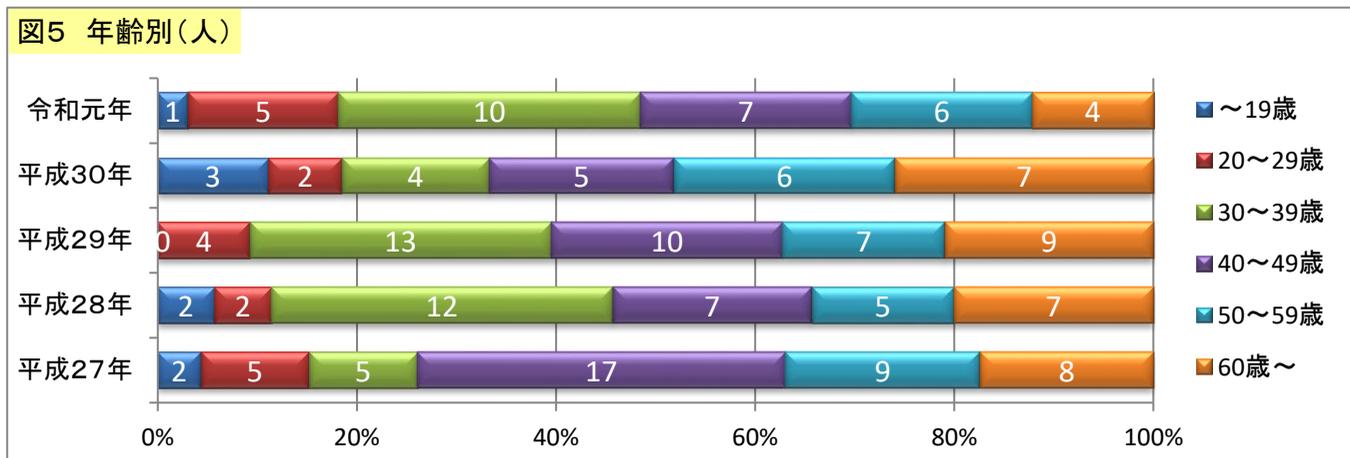
4 起因物別による災害発生状況の推移（林業：兵庫局）

「起因物」別で分類すると「環境等」、「動力機械」で多く発生しています。さらに、小分類で分けると「環境等」では「立木等」、「地山等」で、「動力機械」では「チェーンソー」で発生しています。

「チェーンソー」を起因物とする「切れ・こすれ」災害、「立木等」を起因物とする「飛来・落下」、「激突され」災害などが多く発生しています。



5 年齢別発生状況（林業：兵庫局）



※労働者死傷病報告によるデータ